

しゅんかしゅうとう
春夏秋冬

岁时

处暑和第二百一十日・第二百二十日

处暑是二十四节气中的一个，指最炎热的时候过去、酷暑开始渐渐后退的那些日时。另外，第二百一十日・第二百二十日，是指从立春那一天开始算起、距立春二百一十天・二百二十天的那两天。2003年的处暑为8月23日、第二百一十日为9月1日、第二百二十日为9月11日。

从前，这些日子被看成是台风日，因为在这些日子里大都刮台风并且伴随着狂风骤雨。而这个时候正值日本最重要的农作物——大米收成之际，因此，台风在收割前还是收割后来，便成为人们极其关注的问题。

另外，在第二百一十日和第二百二十日之间刮的强硬的秋风，叫做“野分”。本来是包括台风在内的狂暴的秋季风之总称，而现在，大多只有夹带着秋雨的大风才称其为“野分”。

さいじ
歳時

しよしよ にひやくとおか にひやくはつか
处暑と二百十日・二百二十日

しよしよ にじゅうしせつき ひと あつ とうげ
处暑とは二十四節気の一つで、暑さが峠
を越えて後退し始める頃を言います。また、二
ひやくとおか にひやくはつか りっしゅん かぞ
百十日・二百二十日は、立春から数えて
210日目・220日目に当たる日を言います。
2003年では、处暑が8月23日、二百十
か がついたち にひやくはつか がつ にち
日が9月1日、二百二十日が9月11日となり
ます。

むかし ひ たいふう とくいひ
昔からこれらの日は、台風の特異日とされて
あり、台風が襲来し暴風雨に見舞われること
が少なくありませんでした。この時期は、日本で
もっと じゅうよう のうさんぶつ こめ しゅうかくき
は最も重要な農産物である米の収穫期に
あたっているため、台風が収穫前に来るかど
うかは大きな関心事でした。

また、二百十日から二百二十日頃に吹く秋
きょうふう のわき よ もともと たいふう ふく
の強風を野分と呼びます。元々は台風を含む
あき きょうふう そうしゅう げんざい あめ
秋の強風の総称でしたが、現在では雨を
ともな きょうふう かぎ よ
伴わない強風に限って呼ぶことが多いよう
です。

